

音モダチ・プロジェクト 被災地応援活動

2016/4/28-30

今回は仙台、郡山での演奏、そして川内村で開催される復興マラソンに参加しました。

1日目は仙台市内のまちの工房まどかさんにて。

今回で4回目、約1年半ぶりに伺わせていただきましたが、皆さんから久しぶり！ また来てくれて嬉しい！

と声をかけてくださり、始まる前から嬉しい歓迎を受けました。

コンサートも皆さんノリノリで聴いてくださり、ご存じの曲ではステージに出てこれ一緒に歌ったり、後ろで踊られている方も！

「幸福になるための歌」は一緒に口ずさんでくださいました。

施設長の遠藤さん作詞、池田作曲の施設歌の「羽ばたけまどかの歌」も歌い、素晴らしい歌声を聴かせてくれました♪毎日お昼休みに歌われているそうです。

皆さんが作られたパンもとても美味しくいただきました。



まどかの皆さんも一緒に♪

二日目は福島県の郡山に来ました。

福島第一原発近く富岡町の方々の仮設住宅集会所にて演奏させていただきました。

こちらに伺ったのは昨年の4月ぶり、今回で5回目でした。

こちらの仮設はまだ半分くらいの方が住まわれているとのこと、他の地域に比べると出られている方はまだ少ないということでした。富岡に帰りたいう方、他に住みたいという方、原発に対する想い、福島の現状やいろいろな思いなどのお話も聞けました。皆さんと一緒に町民歌の「富岡わがまち」も歌いました。



富岡町の皆さんと

こちらに伺う前に日本三大桜と言われる三春の滝桜に逢いに行ってきました。

桜はもう咲き終わっていましたが、菜の花が咲いており、桜の葉の緑と空の青、そして菜の花の黄色、とても素晴らしかったです。

桜齢千年の息吹を受けとったように感じました。

最終日は福島県川内村で開催された「川内の郷かえるマラソン」に参加しました。

川内村は帰宅困難地域でしたが2年前に解除となり村民の皆さんはご自宅や災害公営住宅に戻られています。

小学6年生の男の子が村に沢山の人に来てもらうにはマラソン大会をやった方がいいのではないかと提案をしたところ、多くの大人が動き、それが実現し今日を迎えました。

開会式もとても皆さんの想いのこもったものでした。提案した男の子も挨拶をし、

「今日、川内村に初めて来られた人はうちに帰ってから沢山の人に川内村の良いところを話して欲しい」とスピーチしていました。

1600人ほどの人口の村に全国から1188人のランナーが参加し、応援に来られた方を含めると2000人もの方が参加されたということでした。

ゲストランナーに川内優勝選手も来て大会を盛り上げました。

田んぼの脇を走りカエルやウグイスの声を聞き、そして沿道では沢山の皆さんが応援してくれていました。

大会開催には本当に村をあげて皆さんで盛り上げられているようで、とても温かい大会でした。

ありがとうございました！



川内村のゆるキャラ もりたろうくん

<セットリスト>

仙台・まちの工房まどか

風になりたい

ハナミズキ

青葉城恋唄

ジョニーへの伝言

sing

幸せの黄色いリボン

山の人気者

一輪の花

愛のまなざし

羽ばたけまどかの歌

幸福になるための歌

富岡町緑ヶ丘仮設集会所

風になりたい

ハナミズキ

高原列車は行く

ジョニーへの伝言

sing

幸せの黄色いリボン

山の人気者

一輪の花

愛のまなざし

富岡わがまち

幸福になるための歌



福島 三春の滝桜
深緑と菜の花の黄色が素敵でした